

世界の酸化ストレスに関する論文紹介

酸化ストレスに関して多岐にわたる分野で研究が行われています。発表された論文の一部をご紹介します。

Blood-Based Oxidative Stress Markers and Cognitive Performance in Early Old Age
 Department of Epidemiology and Public Health, University College London, UK
初老期における認知機能と血中酸化ストレスマーカー：HAPIEE 研究 英国

◆発表者 Horvat P et al
 ◆掲載 The HAPIEE Study. Dement Geriatr Cogn Disord. 2016; 42: 297-309.
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/27802435>

要旨：背景 / 目的 アルツハイマー病の病理に酸化ストレスが関わっているが、community-dwelling 高齢者の認知機能に及ぼす酸化ストレスの影響については、調べられていない。我々は、初老期における認知機能と血清酸

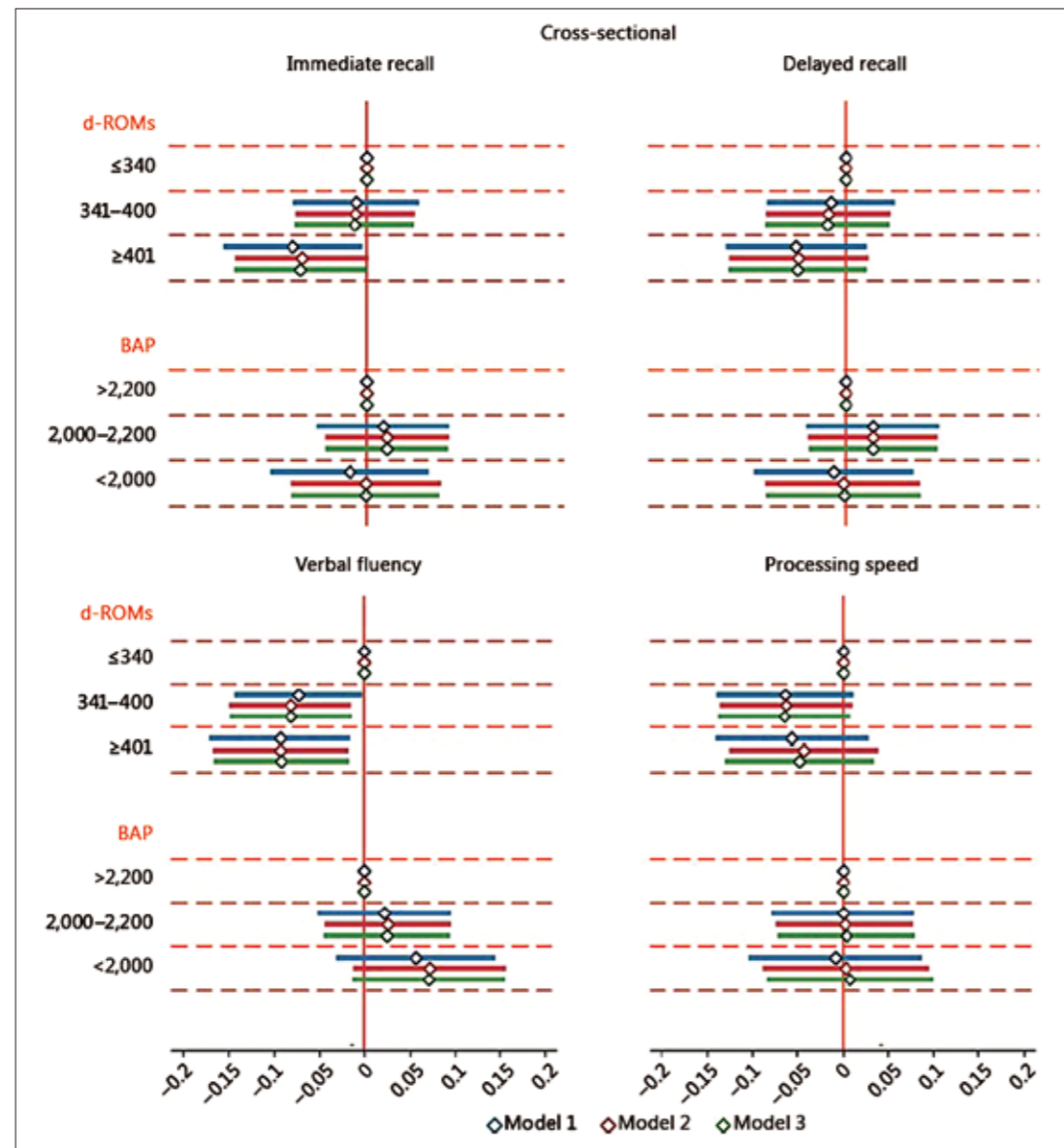
化ストレスマーカーとの関係を調べた。

方法 ヨーロッパ中部及び東部の都市中心部でリクルートされた 45-69 歳の被験者を対象に、記憶力、言語機能（なめらかさ）、処理スピードを、調査開始時及び 3 年後に評価した。活性酸素反応物（d-ROMs）並びに抗酸化能（BAP）、総チオールレベル（TTLs）を測定した。酸化ストレスマーカーと認知テストスコアとの関係を直線回帰法を使って解析した（横断的研究：n = 4,304； 縦断的研究：

n = 2,882）。

結果 d-ROMs 値と認知機能 / 言語機能との間に負の関係が、横断的解析と 3-4 年後の縦断的解析のいずれにおいても認められた。TTL と記憶力との関係は一定ではなかった。BAP は認知機能と関係していなかった。

結論 初老の母集団サンプルを対象とした本研究において、血清 d-ROMs 値と認知機能との間に相関性があることが示唆された。



NEWS 韓国で d-ROMs・BAP テストが保険適応されました

昨年 11 月 23 日、医療機器の承認システムは米国や日本よりも厳しいと言われている韓国で、ウイスマー社が製造する d-ROMs テスト・BAP テストが保険適応されました。

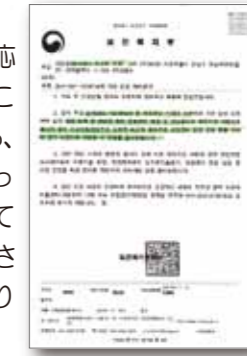
2012 年 6 月にソウル市カンナム地区に韓国支店を設立し、2014 年 2 月には d-ROMs テスト・BAP テストは体外診断薬として承認されていましたが、ついに昨年 11 月 23 日、d-ROMs テスト・BAP テストは保険適応されることとなりました。

医療機器の承認システムは欧米や日本よりも審査が厳しいと言われている韓国。その韓国食薬庁（KFDA）は数ある酸化ストレスマーカーの中で、d-ROMs・BAP テストだけを保険適応としています。これは d-ROMs・BAP テ

ストの予知・予防医学への貢献とウイスマー社韓国支店の活動が韓国の先生方に評価された結果と言えます。

また、ISO13485 と韓国 GMP に適応した生産体制を構築して参りました本社の試薬製造部としても大変光栄なことです。

酸化ストレスマーカーが保険適応されたのはアジア初の快挙です。これは何よりも、過去 15 年間に亘る、多くの日本の先生方のご研究が有ったことであり、改めて d-ROMs・BAP テストを活用下さいました日本の先生方全員に心より感謝御礼申し上げます。



d-ROMs・BAP の改善に

高い還元力で酸化・抗酸化に働きかける

ドクターズ BAP ミネラル® C-120
 Biological Anti-oxidant Potential MINERAL

還元植物ミネラルサプリメント

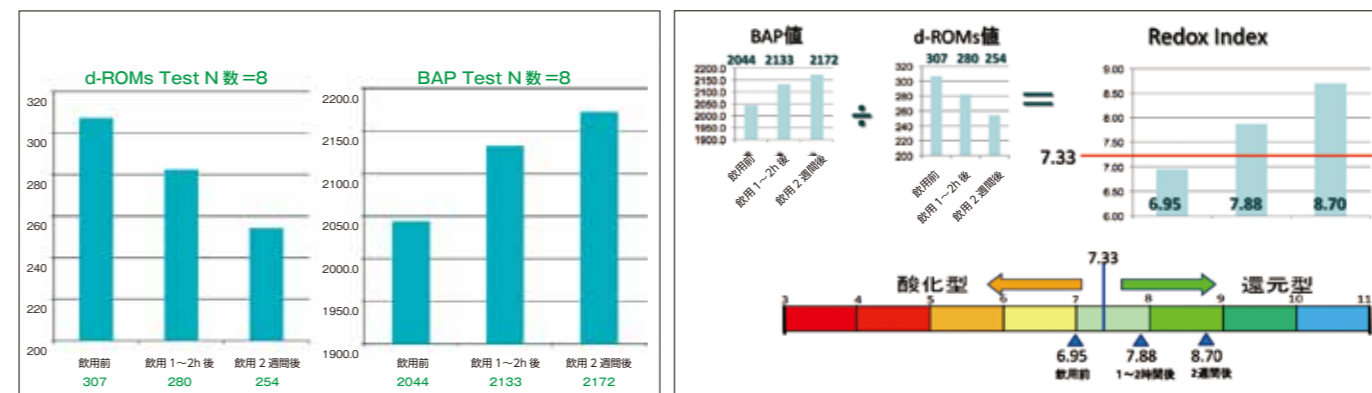
「ドクターズ BAP ミネラル®」は強力な還元力で酸化・抗酸化の両面に働きかける可能性のあるサプリメントです。毎日の摂取で、体内の抗酸化力を上昇させ、過剰な活性酸素・フリーラジカルを消去し、酸化ストレスを軽減していくことが期待されています。

カプセルの黒色は無機元素化のための特殊高温処理によるものです。

還元サプリメント 高い酸化・還元インデックスを示したドクターズBAPミネラル®

ドクターズBAPミネラル® 飲用前後の d-ROMs（酸化ストレス）、BAP（抗酸化力）を検証しました。驚くべきことに、ドクターズBAPミネラル®（2 カプセル）飲用後、わずか 1 ~ 2 時間後には d-ROMs 値、BAP

値が改善しています。2 週間摂取（1 日 4 日カプセル）の結果、継続的に酸化ストレス・抗酸化力の数値が改善し、潜在的抗酸化能値（抗酸化力値 ÷ 酸化ストレス値で 7.33 以上が理想的）も継続的に向上しています。



●お問い合わせ先 03-5802-7333 当社営業マーケティング部まで